

平成 26 年 5 月 14 日

各 位

会 社 名 イメージ情報開発株式会社
代表者名 代表取締役社長 代永 衛
(コード番号 3803)
問 合 せ 先 執行役員経営管理室長 佐藤 将夫
(TEL:03-5217-7811)

平成26年3月期通期連結決算における営業外費用の計上及び
個別通期決算における特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、平成 26 年 3 月期通期(平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)連結決算におきまして、平成 25 年 8 月に発行済株式の 50%を取得し持分法適用会社となりました株式会社北栄に係る「持分法による投資損失」を計上いたしました。また、同期間個別通期決算におきましては、連結子会社であるイクオス株式会社への貸付金について特別損失を計上いたしましたので、お知らせいたします。

記

(1)「持分法による投資損失」の計上

当社は、株式会社北栄(以下「北栄社」という)のコンサルティング業務を受託しておりますが、平成 25 年 8 月 15 日に発行済株式の 50%を 50 百万円で取得し、持分法適用会社といたしました。なお、北栄社は海砂利採取業が主な事業となります。

当社では北栄社の経営全般に関わることで、北栄社の業績が計画通りに確保できるよう体制を整えております。沖縄県において大規模な埋立工事が本年 1 月に着手されており、北栄社は今後その受託による売上増を見込んでおり、当社の決算に与える影響といたしましては、中長期的に、業績に連動したコンサルティング収入が見込まれます。

しかしながら、大規模埋立工事の受注等による北栄社の本格的な業績拡大は平成 26 年度以降となるため、平成 26 年 3 月期は、22 百万円の「持分法による投資損失」を営業外費用に計上いたしました。

(2)個別通期決算における特別損失の計上

連結子会社であるイクオス株式会社に対する貸付金債権 39 百万円について、同社の現在の業績、財務状況等から、取立遅延が発生する見通しにあり、貸倒引当金を計上することといたしました。これに伴い、個別通期決算において、貸倒引当金繰入額 39 百万円を特別損失に計上いたしました。今後、イクオス株式会社からの回収がなされた場合には、これは個別決算において特別利益として計上することとなります。なお、当貸倒引当金繰入額は連結上では消去されるため、連結業績に与える影響はありません。

以 上